

令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ヒッティーン・パレスチナ難民キャンプ内医療センター医療器材整備計画」
機材供与式典

2023年11月27日、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施される「ヒッティーン・パレスチナ難民キャンプ内医療センター医療器材整備計画」の機材供与式典が実施され、奥山駐ヨルダン大使が出席しました。

本計画は、ヨルダン国内のパレスチナ難民キャンプ3箇所で医療センターを運営し、パレスチナ難民を始めとする貧困層を対象に、無料又は非常に安価な診療費で医療サービスを提供するヨルダン・パレスチナ医療援助機関に対し、医療機材（レントゲン機器、脳波計、筋電図検査装置）を供与することで、同機関が運営する医療センターの質の向上及び貧困層の健康増進を図るものです。本案件実施により、年間約4,700人の患者が、より安全かつ精度の高いレントゲン検査を受けることが可能となります。また、同センター内に設立が予定されている神経科では、年間1,000人が神経疾患の治療を安価に受けることが可能となり、医療サービスへのアクセス向上に寄与することを目的としています。

同式典には、機関職員・関係者が出席し、ミシェル・アルサーイグ同機関理事長からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。奥山大使からは、医療サービスへのアクセスが著しく制限されているパレスチナ難民を始めとする貧困層への支援は喫緊の課題であり、本支援が医療センターを利用する人々の健康増進に資することを期待する旨述べました。

日本政府は、1993年以降、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、ヨルダン国内のNGO、学校、病院及び地方自治体に対して、累計158件、総額1,000万ドル以上の支援を行っています。

